

第4回木更津市立小中学校適正規模等審議会会議録

○開催日時：平成31年1月28日（月）

午後2時から午後3時30分まで

○開催場所：木更津市役所朝日庁舎 会議室B

○出席者氏名

審議会委員：橋口武信、鎌田哲也、内田慎一郎、関口明、中垣千恵、住江祐輔、鈴木志乃、北村和則、清水一太郎、石井恵一、加藤淳

教育委員会：高澤教育長、岩埜教育部長、
（教育総務課）秋元教育部次長兼課長、
（施設課）勝畑参事兼課長
（学校給食課）真戸原課長

事務局：（学校教育課）河野参事兼課長、重城副課長、篠田主幹
（学校再編課）内海主幹、古宇田主事、大胡主事

○議題等及び公開非公開の別

議事 (1)課題の整理について：公開

○議事等概要

1. 開会

事務局より、会議の成立の報告及び配付資料等の確認

2. 会長あいさつ

大変遅くなりましたけれども、明けましておめでとうございます。今年は、憲政史上初めて、天皇のご退位があります。5月1日からは、新天皇が即位されますので、おめでたい年なのかなと思います。元号も改められますので、わくわくするような感じがいたしますが、早速、1月26日には、大坂なおみさんが全豪オープン優勝と、今まで聞いたことのないような本当に素晴らしいおめでたいニュースが届きました。

昨日はニューヒーローが誕生し、今年は新しい元号がスタートするといった、色々な意味でおめでたいことがたくさんあるのかなと期待したい1年でございます。

本日の第4回の審議会については、昨年第3回の審議会に引き続き、各学校の課題の整理について、審議してまいりたいというように思います。その中で、色々な課題がありましたら、改めて時間をとって審議してまいりたいと思いますので、本日もよろしく願いいたします。

3. 教育長あいさつ

早いもので、年明け1月も下旬を迎えましたけれども、まもなく2月の声を聞く

ようになりました。本日は大変お忙しい中、第4回の審議会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。お礼を申し上げたいと思います。

また、小中学校の方もかなりインフルエンザが出ておりまして、先週、先々週と学級数で言うと、18から20程度、学級閉鎖となっている状況です。ぜひ、皆様も御身体ご自愛頂ければありがたいと考えております。

橋口会長から元号の件もありましたが、十二支で言いますと亥年になります。最後の干支になりますので、変革の多い年になるだろうとも言われています。

教育委員会の方も、昨年、今年と様々な意味で過渡期を迎えておりますので、若干そういったことにも触れながら、お話できればと思います。

まず1点目ですが、ご案内のとおり、ご心配もお掛けしておりますが、市内の中郷中学校と富岡小学校が今年度末を持って、中郷中学校が清川中学校、富岡小学校が馬来田小学校と統合いたします。統合まで2ヶ月余りとなりましたが、3月24日に両校とも閉校式典を考えております。現在、詳細について詰めている段階ですが、そういった形で今年度末を持って2校が統合いたします。

なお、富岡小学校と馬来田小学校の統合につきましては、新しく「富来田小学校」という名称に決定いたしました。また、富来田小学校と富来田中学校の両校で、本市初の小中一貫教育を進めて行きたいと考えております。おかげさまで、富来田小学校も、新しい校章や校歌が完成ありつつあるという状況にあります。

施設関係につきましては、真舟小学校の8教室増築工事が終わりました。また、新設しております中郷小学校も、ほぼ出来上がりまして、2月の初旬に検査を受けて引き渡しになる予定でいます。その後、グラウンドの整備等の細かな点の手が加わる形で考えております。

また、本市の子ども達が増えている地区がありまして、金田小学校、太田中学校になります。この2校につきましては、児童・生徒増に対応する形の中で、平成31年と平成32年の2年間の継続事業ということで、真舟小学校と同じように校舎の増築をしていく予定でいます。

説明会は終わっているのですが、通学区域の一部見直しの地域が、4月から開始になる予定です。清川中学校の通学区域の一部が木更津第三中学校、木更津第二中学校の通学区域の一部が太田中学校に変更となります。4月1日から通学区域が変更となりますので、教育委員会も子ども達の事故というのが心配でありますので、そういったことにも対応しながら、平成31年4月以降スムーズに通学区域の変更が行えるようにしていきたいと考えております。

色々なものが過渡期を迎えておりますので、適正規模の審議会も合わせまして、皆様から忌憚のないご意見を頂戴できればと考えております。本日の審議会につきましては、橋口会長からお話がありましたように、前回に引き続いて残っている小中学校1校ずつ、皆様に検討していただきますので、限られた時間ではございますが、皆様の慎重審議をお願いして、挨拶に代えさせていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

4. 議事

(1) 課題の整理について

(説明概要)

橋口会長 では、議事の(1)「課題の整理について」を議題に供します。今回は前回に引き続き、資料17の課題整理のポイントにしたがい、前回協議しなかった小中学校一校一校をみていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。前回欠席の方もいらっしゃるので、課題整理のポイントについて、事務局より再度説明をお願いします。

内海主幹 私から「課題整理のポイント」について、説明させていただきます。資料17をご覧ください。

事務局案として、課題整理のポイントは5つあると考えています。

1つ目は「『適正規模の基準』と『必要な学級数の目安』に合致しているか」ということです。前回の審議会で、皆様にご協議いただきました結果、「望ましい学級数」については、小学校が12から18学級、中学校が9から18学級となっています。そして、「必要な学級数」については、小中学校とも6学級以上となっており、その数を割り込みますと教育上の課題があるとされておりますので、その点もしっかり見ていただきたいと思っております。

2つ目は「教室数は不足していないか」ということです。教室が足りなくなってしまうと、子どもたちの持つ「教育を受ける権利」を侵害することになってしまいます。

3つ目が「敷地面積は十分か」ということです。敷地面積が十分でないと、教育活動を行う上で支障が出てまいります。敷地が狭くても敷地を拡張することができない現状も正直いってございます。

4つ目が「通学距離は適当か」ということです。平成27年1月27日に策定された「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」には、通学距離は小学校が4km以内、中学校が6km以内、通学時間はおおむね1時間以内を一応の目安としております。その基準に合致しているかということですが、

5つ目が「個々の学校に応じたその他の課題」です。これには、1つの小学校から2つの中学校に進学先が分かれる場合や、通学における安全面について大きな課題がある場合などが含まれると考えます。

この5つのポイントに従い、協議をしていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

橋口会長 では、これから5つの課題整理のポイントにしたがって各校を見ていきたいと思っております。なお今回は、畑沢中学校区、波岡中学校区、鎌足中学校区、岩根中学校区、岩根西中学校区、金田中学校区、富来田中学校区について審議してまいります。まずは、畑沢中学校区から審議してまいります。最初は畑沢小学校です。それでは事務局、説明をお

願います。

内海主幹 それでは課題整理の5つのポイントにしたがって、畑沢小学校について説明させていただきます。資料4の11ページをご覧ください。

畑沢小学校は、平成30年度こそ望ましい学級数を上回りますが、36年度は望ましい学級数の範囲内であり、教室数の不足はありません。敷地面積も問題ありません。通学距離は学区全域が3.5km以内です。以上で畑沢小学校の説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、畑沢小学校について、ご質問ご意見はございますか。

(質疑なし)

橋口会長 では、畑沢小学校に関しては、問題ないということよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 それでは、畑沢中学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 18ページをご覧ください。畑沢中学校は平成30年度、平成36年度とも望ましい学級数の範囲内であり、教室数の不足はございません。敷地面積は十分であり、通学距離は2.5km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、畑沢中学校について、ご質問ご意見はございますか。

(質疑なし)

橋口会長 では、畑沢中学校に関しては、問題ないということよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 それでは波岡中学校区に進みたいと思います。まずは、波岡小学校です。事務局、お願いします。

内海主幹 8ページをご覧ください。波岡小学校は、平成30年度及び平成36年度とも、必要な学級数を維持しております。教室数は不足しておらず、敷地面積も問題ありません。通学距離は片道4km以内です。国道127号線バイパスと片側一車線の狭い市道に接しているため、通学の安全性の確保が大きな問題です。また、進学先が畑沢中学校と波岡中学校に分かれています。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 波岡中学校の近くを通るときは、児童の通学路の安全は本当に大丈夫かということで、いつも気になるのですが、通学路の改善については教育委員会にぜひ改善を要望しておきたいと思います。

皆様から、波岡小学校についてご質問ご意見はございますか。

内田委員 あの道狭いですよね。シーアイタウンの児童が通学するにあたり、車が通るのも大変なので安全ではないと思います。

内海主幹 毎朝、学校支援ボランティアの方やP T Aの方、職員等が7箇所くらいの場所に立っていると聞いております。

鎌田委員 地域やP T Aの方から、通学路に関する要望等は挙がっていないのでしょうか。

鈴木委員 母女の会から毎年要望は挙がっていると思います。

鎌田委員 それに対して、現在はP T A等の立ち当番等のソフト面の対応しかできていないということなのですね。

内田委員 火葬場の建設に伴い、道路の拡張はないのでしょうか。

古宇田主事 土木の担当の部署に確認したのですが、新たな火葬場の建設に伴い、周辺道路の整備を実施することから、都市計画道路として市道135号線は両側の歩道の整備、市道136号線は片側の歩道の整備をする予定と伺っております。

橋口会長 では、波岡小学校に関してはよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 それでは次に八幡台小学校です。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 12ページをご覧ください。八幡台小学校は平成30年度及び平成36年度とも、望ましい学級数を超過しております。教室数は不足しておらず、敷地面積も問題ありません。通学距離は片道2.5km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、八幡台小学校についてご質問ご意見はございますか。

(質疑なし)

橋口会長 では、八幡台小学校に関してはよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 それでは波岡中学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 19ページをご覧ください。波岡中学校は平成30年度及び平成36年度とも望ましい学級数の範囲内です。教室数は不足しておらず、

敷地面積も問題ありません。通学距離は片道4km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、波岡中学校について、ご意見ご質問はございますか。

(質疑なし)

橋口会長 では、波岡中学校に関してはよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 それでは次の鎌足中学校区に進みたいと思います。最初は鎌足小学校です。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 9ページをご覧ください。鎌足小学校は、平成30年度及び平成36年度とも必要な学級を維持しております。教室数は不足しておらず、敷地は上段に校舎、下段に校庭がありますが、敷地形状により十分な運動場が確保できないとさせていただいております。

一部片道4kmを越え、5kmの地域があります。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、鎌足小学校についてご意見、ご質問はございますか。

北村委員 4kmを超えている地域の児童は、徒歩で通学しているのでしょうか。

内海主幹 草敷の富来田地区に近い場所であり、約4.3kmあり、徒歩で通学しています。

橋口会長 4kmを超えている児童は多いのでしょうか。

内海主幹 多くはいないです。

橋口会長 では、鎌足小学校に関してはよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 次に、鎌足中学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 16ページをご覧ください。鎌足中学校は、平成30年度及び平成36年度とも単学級で、最低限必要な学級数を維持しておりません。教室数は不足しておらず、敷地面積は問題ありません。学区全体が片道4.5km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、鎌足中学校についてご意見、ご質問はございますか。

北村委員 自転車通学の基準は、どうなっているのでしょうか。

内海主幹 自転車通学の基準については、学校長の判断になりますので、学校毎に異なっております。

関口委員 鎌足中学校が統合する場合、太田中学校に通うことになると思いますが、そうなった場合は通学距離が長くなるので、現状維持が良いのではないのでしょうか。

橋口会長 富岡小学校区の子どもが富来田中学校に通学することを考えると、それよりは遠くないのかなと思います。

内海主幹 鎌足中学校から太田中学校までは、約 5, 2 k m になります。

橋口会長 富岡小学校から馬来田小学校までは、どの程度の距離がありますか。

古宇田主事 富岡小学校から馬来田小学校までは、約 4 k m になります。ただ、富岡小学校区で考えると 8 k m 等になったりします。

内田委員 鎌足小学校か鎌足中学校のどちらかの校舎で、小中一貫校を設立することは就学可能学級数で見た場合、可能でしょうか。

内海主幹 就学可能学級数ですが、鎌足小学校が 7 教室、鎌足中学校が 3 教室になりますので、小中一貫校にするのは難しいと思います。

橋口会長 鎌足中学校については、今後統合の方向で論議する必要があるのではないかと思います。

高澤教育長 3 学級しかありませんので、教育委員会として心配しているのが、中学校の場合教科担任制になりますので、9 教科全ての先生が揃っていません。専門的に授業をしてくれる先生がいない科目があります。1 週間に 1 回来て頂いて、まとめて授業を実施するといった状況が生まれています。

もう一点は、部活動に関して、子ども達がやりたい部活があるのだけれども、部活動が成立しないとといった状況が生まれてきます。学級数が減るといったことは、そういった心配も出てきます。そのようなことも含めて検討していただければと思います。

橋口会長 結論を出すには、内容が不足していると思いますので、現地視察を行い、論議を深めさせていただきたいと思います。課題がある学校ということで、次に進みたいと思いますがよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 次に岩根中学校区に進みたいと思います。まずは高柳小学校です。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 8 ページをご覧ください。高柳小学校は、平成 30 年度及び平成 36 年度とも望ましい学級数の範囲内です。教室数は不足しておらず、敷地面積は十分です。通学距離は片道 3. 5 k m 以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、高柳小学校につきまして、ご質問やご意見はございますか。

(質疑なし)

橋口会長 では、高柳小学校に関してはよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 では、次の岩根中学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 15ページをご覧ください。岩根中学校は、平成30年度及び平成36年度とも、最低限必要な学級数を維持しています。教室数は不足しておらず、敷地面積は問題ありません。学区全体が片道3.5km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 岩根中学校が岩根西中学校と統合するという話を聞いたことがあるのですが、どうなっているのでしょうか。

内海主幹 平成29年2月に策定された「木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画」の中で、岩根西中学校について記載があります。平成28年度から平成31年度まで統合の検討、生徒数の推移を注視となっております。

橋口会長 では、岩根中学校に関しては特に問題ないということによろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 次は、岩根西中学校区に進みます。最初に岩根小学校です。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 7ページをご覧ください。岩根小学校は、平成30年度及び平成36年度とも望ましい学級数の範囲内です。教室は不足しておらず、敷地面積は問題ありません。学区全体が片道3km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、岩根小学校につきまして、ご質問やご意見はございますか。

(質疑なし)

橋口会長 では、岩根小学校につきましてはよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 ここで、5分休憩に入ります。

《 休 憩 》

橋口会長 次は、岩根西中学校に進みたいと思います。岩根西中学校については、平成29年2月に出された「木更津市立小中学校適正規模及び適正配置実施計画」において、「生徒数の推移を注視し、統合を検討」となっております。では事務局、説明をお願いします。

内海主幹 19ページをご覧ください。岩根西中学校は、平成30年度及び平成36年度とも必要な学級数を維持しております。教室は不足しておらず、敷地面積は十分です。通学距離は片道3km以内です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、岩根西中学校につきまして、ご質問やご意見はございますか。

鎌田委員 なぜ、「統合を検討する」となったのでしょうか。

内海主幹 生徒数が減少するといったような話を聞いております。

関口委員 「もう少し減るようであれば考えましょう」という考えがあったのではないかと思います。

橋口会長 では、岩根西中学校に関しましては、問題なしということによろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 次は、金田中学校区に進みたいと思います。まず金田小学校です。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 9ページをご覧ください。金田小学校は現在、必要な学級数を維持しており、平成36年度には望ましい学級数に移行する予定です。教室数は平成32年度までは足りる予定ですが、平成33年度以降は足りなくなる可能性が高いです。敷地面積は十分で、通学距離は片道3.5km以内です。現在、土地区画整理事業が進んでおり、人口が急増する可能性の高い地域です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、金田小学校につきまして、ご質問やご意見はございますか。

北村委員 平成33年度から教室数が不足するとなっておりますが、増築の予定はあるのでしょうか。

勝畑参事 平成31、32年度で、8教室分の増築を検討しております。

関口委員 金田小学校の教室の大きさが通常より小さい気がするのですが、そういったことも考慮した上で、8教室増築すれば足りるということによろしいでしょうか。

勝畑参事 そういったことを考慮しても、人口推移を見て8教室増築で問題ないと考えています。

内田委員 施設の建設年度が昭和3年となっておりますが、昭和3年の建物が残っているのでしょうか。

関口委員 残っています。

橋口会長 地域の方から、文化的価値が高いから残して欲しいという要望があると聞いています。

勝畑参事 正面玄関入って、真正面に2階建ての鉄筋コンクリート造の建物があります。一時期は防音の改修工事等を実施していたのですが、文化的な価値が高いので、残して欲しいという話の中、今後の方向性について検討している状況です。

耐震診断はしていて、耐震不足です。ただ、文化財の価値もあるので、耐震補強をどう実施すればよいのかという問題があるので、現在は使用せずに残している状況です。

橋口会長 8教室増築を検討しているということですが、敷地面積は狭くならないのでしょうか。

勝畑参事 区画整理の関係で、グラウンドはかなり広くなりました。前に比べて約1.5倍。体育館の北側も、学校の敷地として活用できる状況です。敷地全体としては広いです。

橋口会長 では、金田小学校につきましては、児童数が大幅に増えることが予想され、増築で対応していきたいという意見になりました。よろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 次は、金田中学校に進みたいと思います。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 16ページをご覧ください。金田中学校は現在単学級であり、最低限必要な学級は満たしておりません。平成36年度も必要な学級数は満たさない予想となっております。教室は不足しておらず、敷地面積は十分です。通学距離は片道3.5km以内です。大型商業施設の進出や土地区画整理事業が施行されたことにより、人口の急増が見られ、今後は生徒数が非常に多くなることが予想されます。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 増築の予定はありますか。

勝畑参事 金田中学校の増築の予定については、具体的な計画はしていません。今後は、生徒数の推移を見ながら検討していく必要が出てくると思います。

鎌田委員 現状では、3学級ということで教科担任制の関係等に問題はないのでしょうか。

河野参事 現在のところ、大きな支障は出ておりません。授業は成立している状況にあります。

橋口会長 敷地面積は問題ないのでしょうか。

勝畑参事 敷地面積は問題ないです。

橋口会長 では、金田中学校につきましては、今後、大幅に生徒数が増加することが予想されるため、課題がある学校という認識でよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 次は、富来田中学校区に進みたいと思います。まずは、富来田小学校です。事務局、説明をお願いします。

内海主幹 10ページの馬來田小学校の欄をご覧ください。馬來田小学校は富岡小学校と統合し、平成31年4月より富来田小学校となります。教室は不足しておらず、敷地面積は十分です。通学距離は一部片道4kmを越える地区があり、9km以内です。来年度から富岡地区から富来田小学校に統合する児童対象にスクールバスを走らせる予定です。また、隣の敷地にある富来田中学校と合わせ、小中一貫校になる予定です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 富来田小学校と富来田中学校については、同じ話になると思いますので、ご質問、ご意見を伺う前に、富来田中学校について説明をお願いいたします。

内海主幹 17ページをご覧ください。富来田中学校は平成30年度及び平成36年度とも最低限、必要な学級数を満たしておりません。教室は不足しておらず、敷地面積は十分です。通学距離は一部6kmを越える地区があり、10km以内です。来年度より富来田小学校と合わせ、小中一貫校になる予定です。以上で説明を終わらせていただきます。

橋口会長 では、富来田小学校、富来田中学校につきまして、ご質問、ご意見はございますか。

北村委員 中学校もスクールバスは運行するのでしょうか。

内海主幹 中学校については、スクールバスは運行いたしません。

橋口会長 中学生は自転車で通学できる範囲ということで、スクールバスに乗車できないということでしょうか。

古宇田主事 富岡小学校区の児童ということで、小学生を対象にスクールバスを運行する予定ですので、中学生につきましては、スクールバスに乗車することはできないこととなります。

河野参事 現在、富岡小学校の卒業生は、自転車で富来田中学校に通学していますので、中学生を対象にスクールバスを運行することはないです。

内田委員 スクールバスは何人乗りを考えているのでしょうか。

古宇田主事 4月以降に運行するのですが、富岡地区の児童が25～28人くらいと定まっていますので、児童数によって、マイクロバスか中型バスか検討している状況です。マイクロバスだと28人乗り、中型バスだと40人乗りになります。

橋口会長　私が心配しているのは、富来田中学校は生徒数が減少傾向にあることです。小学校と中学校の統合ということで、木更津市初となる小中一貫校ができますが、良い結果になるのか、悪い結果になるのか、まだ見えてきていないように感じます。非常に良い学校ができるように思われるのですが、富来田中学校の子ども達が増えて、活気付いてくるわけじゃない。複式学級の懸念等が解消されるわけではない。小中一貫校については、様々な考えがあるということを確認しながら、地域の人たちの協力も得ないといけないけど、基本的には行政の仕事だろうと思います。教育委員会には良いアイデアを出していただきたいのですが、教育効果という面ではわからないことも多い気がします。

内海主幹　木更津市としては、初めての小中一貫校を設立するのですが、それを検討するにあたり、館山市、君津市、市原市に視察に行ってきましたので紹介いたします。

館山市については、「児童生徒に関して、中学生が良いお手本になろうと生活しており、落ち着いて生活している」「小学生は中学生を近くで見ることで、中学校生活に親近感が沸いたり、慣れたりする」「教職員の方もお互いに理解が深まる」と言っておりました。君津市では、「小中の合同行事等をして、小中学校の壁が狭まりつつあると感じる」と言っており、市原市では、「9年間の一貫教育が小から中へのスムーズな接続により、中一ギャップの解消に繋がっている」「児童生徒の情報交換がスムーズに行える」といった好意的な意見を聞いております。

橋口会長　今は、たまたま良い意見がでてきましたが、そうは言っても学級数は減少傾向にあります。中学校の授業というのが、教科担任制であり、教職員数が多いことで解消できる。部活動も先ほど教育長からお話がありましたが、色んな課題が出る中で、良い面・悪い面をしっかりと整備しておいて、良い方向に繋げて欲しいと思います。

高澤教育長　小中一貫教育については、教育委員会が責任を持って行う仕事であると考えております。ただ、小中一貫教育へ移行するといった大きな目的があり、その目的をしっかりと達成することが重要であります。

大変難しいことだと伺っておりますが、「小中一貫校にして、子ども達の学力がどうやって伸びるのであるのか」「小中の交流を通して、子ども達の心をしっかりと育てていけるのか」「小中の教職員の交流も出てきますので、教職員の負担が増えないであろうか」、そういったことが本末転倒になってはいけませんので、しっかりと先を見ながら進めていかなければいけないですし、教育委員会も努力していきたいです。

ただ、不安材料はたくさんあります。鴨川の長狭学園は一体型の小中一貫校であり、富来田小・中学校については、隣接型の小中一貫校でありますので、校長先生、教頭先生も両校にいます。学校としても、単独の学校として残っていきます。

中学生が減少していき、中学校として機能しなくなれば、小中一貫校も見直しが必要になると思います。子どもが減っていく状況ですので、将来的にはそういったことも視野に入れる必要があると思います。

石井委員 富来田地区から来ていますので、意見を言わせてもらいます。馬来田小学校と富岡小学校の統合については、教育委員会の対応が良く、統合に向けて円滑に進んでおります。なので、今後実施される小中一貫教育に対しても、地元としては非常に期待しております。

橋口会長 では、富来田小学校、富来田中学校につきましてはよろしいでしょうか。

(異議なし)

橋口会長 それでは以上を持ちまして、議事の一切を終了させていただきます。第3回審議会と今回の審議会で、課題のありそうな学校について、いくつか取り上げてきました。事務局より課題のある学校について、確認をお願いします。

内海主幹 大きな課題があると思われる学校について報告いたします。木更津第二中学校については、校地が狭隘であり、生徒増による教室不足の恐れがある。真舟小学校については、児童数が多く、教室不足であったが、校舎増築で対応いたしました。太田中学校については、生徒増による教室不足の懸念があり、校舎増築が必要。東清小学校については、必要な学級数を満たしておりませんので、統合の検討が必要。

今回の審議会の中では、波岡小学校については、通学路の安全性の確保。鎌足中学校については、必要な学級数を満たしておりませんので、統合の検討が必要。金田小・中学校については、児童・生徒数増加により教室不足が生じる可能性があり、校舎の増築の検討。富来田小・中学校については、小中一貫教育の充実の方策検討ということでご意見を頂きました。以上でございます。

橋口会長 ありがとうございます。事務局におかれましては、課題のある学校とされた学校を中心に視察の計画を立てていただきますよう、お願いします。

5. その他

橋口会長 続きまして、その他です。委員の皆様方から、何かございますか。

大胡主事 本日はありがとうございます。次回、第5回の審議会は「課題のある学校」につきまして、現地視察を行う予定です。日にちは3月5日、時間は13時を予定しております。朝日庁舎駐車場に12時50分までにお集まりいただけますよう、お願いいたします。後日改めて、ご案内の文書を郵送させていただきます。

なお、第6回の審議会は5月に実施する予定ですので、ご承知おきください。

橋口会長 ありがとうございました。それでは、皆様、長時間にわたり慎重なご審議ありがとうございました。以上をもちまして、第4回木更津市立小中学校適正規模等審議会を閉会させていただきます。ご苦労様でした。

以上

上記会議録を証するため下記署名する。

平成31年2月27日

木更津市立小中学校適正規模等審議会委員 (内田慎一郎委員署名)